

世界にはばたくオーケストラを目指して

# 公益財団法人 日本センチュリー交響楽団



アニュアル・レポート

2010 ▶▶ 2011





# 公益財団法人「日本センチュリー交響楽団」

---



2011年4月より、大阪府文化振興財団（大阪センチュリー交響楽団）は公益財団法人日本センチュリー交響楽団として生まれ変わり、新たなスタートをきりました。これからも、2009年度に定めました「大阪力・発信」「感動・癒し」「発掘・育成」「交流・平和」のビジョンをもとに、更なる飛躍を目指してまいります。これまで賜りました“大阪センチュリー交響楽団”への温かいご支援に感謝すると共に、新生“日本センチュリー交響楽団”への変わらぬご支援をお願い申し上げます。

理事長 水野 武夫

## これまでの歩み

---

- |       |     |   |
|-------|-----|---|
| 1989年 | 8月  | 常任指揮者にウリエル・セガル（～1996年3月）、                     |
|       | 12月 | 指揮者に岡田司、小田野宏之、梅田俊明が就任する（～1992年3月）<br>楽団が発足する  |
| 1990年 | 2月  | 楽団の名称を公募し、「大阪センチュリー交響楽団」に決定する                 |
|       | 3月  | デビューコンサートを行う（ザ・シンフォニーホールほか3会場）                |
| 1992年 | 4月  | 首席客演奏者に小泉和裕が就任する（～1995年3月）                    |
| 1993年 | 1月  | 「大阪府民劇場奨励賞」を受賞する                              |
| 1994年 | 3月  | 「ザ・シンフォニーホール国際音楽賞・クリスタル賞」を受賞する                |
|       | 4月  | 佐渡裕が首席客演指揮者に就任する（～1997年9月）                    |
|       | 10月 | アメリカ公演を行う（サンフランシスコ他7都市）                       |
| 1995年 | 2月  | 「大阪舞台芸術賞」を受賞する                                |
| 1996年 | 8月  | 星空ファミリーコンサートを始める（服部緑地野外音楽堂）                   |
|       | 11月 | 東南アジア公演を行う（トヨタ・クラシックス'96）（シンガポール他5都市）         |
| 1997年 | 4月  | 名誉指揮者にウリエル・セガルが、常任指揮者に高関健（～2003年3月）が就任する      |
| 1999年 | 11月 | いずみ定期演奏会を始める（2005年1月まで年間4回）                   |
|       | 12月 | 創立10周年を記念して、第57回定期演奏会で「第九」を演奏する               |
| 2003年 | 4月  | 首席指揮者に小泉和裕（～2008年3月）、専任指揮者に金聖響（～2006年3月）が就任する |
|       | 6月  | オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」を始める               |
|       | 12月 | 中国公演を行う（杭州・上海）                                |
| 2004年 | 1月  | 特別支援学校コンサートを始める                               |
|       | 6月  | 病院コンサートを始める                                   |
|       | 10月 | 京都特別演奏会を始める                                   |
| 2005年 | 7月  | おもしろオーケストラ教室を始める                              |
|       | 10月 | 上海交響楽団と合同演奏をする（上海音楽庁）                         |
| 2008年 | 4月  | 音楽監督に小泉和裕、首席客演奏者に沼尻竜典が就任する                    |
|       | 7月  | センチュリー・ファンクラブが発足する                            |
| 2009年 | 12月 | 楽団創立20年を迎える                                   |
| 2010年 | 7月  | 上海公演を行う（オリエンタル・アート・センター）                      |
| 2011年 | 4月  | 公益財団法人日本センチュリー交響楽団としてスタートする                   |

## 2010 年度活動報告

音楽監督小泉和裕と首席客演指揮者沼尻竜典、ともに就任3年目をむかえた両マエストロの個性が引き立つ6回に加え、海外からの4人の指揮者がお家芸的な演奏を繰り広げ、全ての公演が印象に残るものとなりました。また、7月の上海・8月のびわ湖・1月の京都の特別演奏会では、多くの皆さまにご来場いただき、大盛況のうちに終えることができました。

### ▶ 定期演奏会 第150回～第159回（計10回） ザ・シンフォニーホール

#### ● 第150回 2010年4月8日（木）

指揮…小泉 和裕  
ピアノ…若林 顕  
ペルリオーズ：序曲「リア王」作品4  
ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 作品43  
ニールセン：交響曲 第4番 作品29「不滅」

#### ● 第151回 2010年5月13日（木）

指揮…沼尻 竜典  
ソプラノ…浜田 理恵 メゾ・ソプラノ…寺谷 千枝子  
テノール…永田 峰雄  
合 唱…びわ湖ホール声楽アンサンブル  
大阪センチュリー合唱団  
高橋 悠治：大阪1694年（委嘱作品、世界初演）  
メンデルスゾーン：交響曲 第2番 変ロ長調 作品52  
「神をたたえる歌」

#### ● 第152回 2010年6月17日（木）

指揮…張 國勇  
クラリネット…ディミトリ・アシュケナージ  
中国民謡（編曲：茅源／劉鉄山）：序曲「瑶族舞曲」  
コーブランド：クラリネット協奏曲  
ドヴォルザーク：交響曲 第8番 ト長調 作品88

#### ● 第153回 2010年7月15日（木）

指揮…小泉 和裕  
ヴァイオリン…米元 響子  
リスト：交響詩「ハムレット」  
ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26  
ショスタコーヴィチ：交響曲 第5番 ニ短調 作品47



#### ● 第154回 2010年9月16日（木）

指揮…アレクサンドル・ドミトリエフ  
ピアノ…中野 翔太  
■ショパン 生誕200年  
ショパン：ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11  
（ナショナル・エディション）  
チャイコフスキー：  
交響曲 第6番 ロ短調 作品74「悲愴」

#### ● 第155回 2010年10月21日（木）

指揮…小泉 和裕  
モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K.334  
ルトスワフスキ：管弦楽のための協奏曲



#### ● 第156回 2010年11月18日（木）

指揮…沼尻 竜典  
ピアノ…エヴァ・クピーク  
■武満 徹 生誕80年  
武満 徹：弦楽のためのレクイエム  
■ショパン 生誕200年  
ショパン：ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 作品21  
（ナショナル・エディション）  
■シューマン 生誕200年  
シューマン：交響曲 第2番 ハ長調 作品61



#### ● 第157回 2010年12月10日（金）

指揮…レオシュ・スワロフスキー  
ヴァイオリン…アリョーナ・バーエワ  
グリンカ：歌劇「ルスランとリュドミラ」序曲  
ハチャトゥリアン：ヴァイオリン協奏曲 ニ短調  
マルティヌー：交響曲 第3番

#### ● 第158回 2011年2月10日（木）

指揮…アラン・プリバエフ  
ピアノ…アブデル・ラーマン・エル＝バシャ  
ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲  
サン＝サーンス：ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 作品22  
ドビュッシー：交響詩「海」  
ラヴェル：管弦楽のための舞踏詩「ラ・ヴァルス」

#### ● 第159回 2011年3月18日（金）

指揮…小泉 和裕  
チェロ…堤 剛  
ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品104  
バルトーク：管弦楽のための協奏曲

## ► その他の主催公演

### 特別演奏会

- オーケストラできく「美しい日本のうた」  
2010年4月20日(火) NHK 大阪ホール  
指揮…岩村 力  
司会と朗読…檀 ふみ  
編曲・監修…南 安雄

- 上海公演  
2010年7月29日(木)  
オリエンタル・アート・センター  
指揮…沼尻 竜典  
ピアノ…ニューニュー (牛牛)  
芥川 也寸志:弦楽のための3楽章「トリプティーク」  
ショパン:ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11  
ドヴォルザーク:交響曲 第9番 ホ短調 作品95  
「新世界より」



- びわ湖定期公演 vol.1  
2010年8月8日(日) びわ湖ホール  
指揮…沼尻 竜典  
ピアノ…ニューニュー (牛牛)  
芥川 也寸志…弦楽のための3楽章「トリプティーク」  
ショパン…ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11  
ブラームス…交響曲 第4番 ホ短調 作品98
- 京都特別演奏会  
2011年1月16日 京都コンサートホール  
指揮…小泉 和裕  
ピアノ…小山 実稚恵  
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18  
チャイコフスキー:交響曲 第6番 ロ短調 作品74「悲愴」



### 社会貢献事業

- 特別支援学校コンサート  
2010年1月19日(水) ビッグ・アイ (堺市)  
指揮…小田野 宏之 司会…大槻 温子
- 府立病院コンサート (アンサンブル)  
2010年5月18日(火)  
成人病センター・母子保健総合医療センター  
2010年5月19日(水)  
精神病センター・急性期総合医療センター・呼吸器アレルギー医療センター



- 特別支援学校コンサート  
2010年5月20日(木)  
羽曳野支援学校・交野支援学校  
2010年5月21日(金)  
藤井寺支援学校・中津支援学校



- 星空ファミリーコンサート  
2010年8月28日(土) 29日(日)  
服部緑地野外音楽堂  
指揮…小田野 宏之  
司会…どい かつえ  
共演…センチュリー・ユースオーケストラ



- センチュリー・ユースオーケストラ第3回定期演奏会  
2011年3月26日(土) いずみホール  
指揮…小田野 宏之  
共催…関西テレビ青少年育成事業団



# 2010 年度収支報告

財務の収支内容につきましては下記の収支計算書の通りです(2011 年 4 月現在)。  
2 段目の表が収支の報告となっております。

## ▶ 楽団の運営

幣団・大阪センチュリー交響楽団は、平成 22 年 9 月大阪府補助金による運営から、自立化、民営化を決意し経営基盤の確立に向けて事業収入の増加、国・民間・団体からの助成の確保、寄付金の獲得に取り組んでまいりました。

そして、公益法人改革にもとづき、寄付についての税制上の優遇措置のある公益財団法人・日本センチュリー交響楽団へ平成 22 年 4 月 1 日に移行しました。

日本センチュリー交響楽団は、大阪での活動を軸足に置きながら、滋賀・京都・神戸・三重・福井での演奏会の開催、ホールや学校との連携による演奏会を行うなど演奏活動の場を全国各地へ拡げ、一層の事業収入の確保に努めながら、会員の拡大、寄付金の獲得による収入の増加を図り、収支均衡を目指します。その経営基盤が安定するまで、旧基本財産 20 億円を演奏活動や楽団運営の財源として活用してまいります。

### ■ 貸借対照表の要旨

(単位：千円)

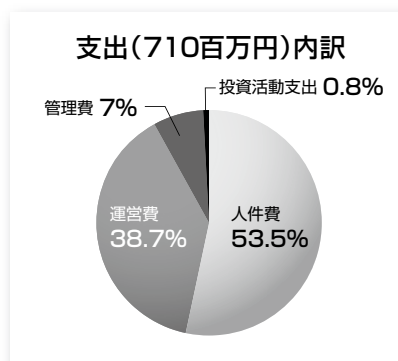
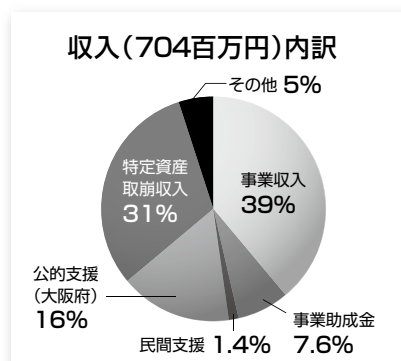
科 目	2009 年度 決算	2010 年度 決算見込	2011 年度 予算	2010 年 2011 年 増減	科 目	2009 年度 決算	2010 年度 決算見込	2011 年度 予算	2010 年 2011 年 増減
<b>【資産の部】</b>					<b>【負債の部】</b>				
流動資産	139,262	240,100	124,499	▲ 115,601	流動負債	62,222	57,000	57,000	0
(うち現預金)	(55,647)	(209,099)	(93,498)	(115,601)	固定負債	11,046	0	0	0
固定資産	2,535,286	2,209,448	2,060,451	▲ 148,997	(うち退職給付引当金)	(11,046)	(0)	(0)	(0)
基本財産	2,000,000	2,000,000	0	▲ 2,000,000	負債合計	73,268	57,000	57,000	0
特定資産	521,128	200,000	2,055,035	1,855,035	<b>【正味財産の部】</b>				
その他資産	14,158	9,448	5,416	▲ 4,032	正味財産	2,601,280	2,392,547	2,127,950	▲ 264,597
資産合計	2,674,548	2,449,548	2,184,950	▲ 264,598	負債・正味財産合計	2,674,548	2,449,547	2,184,950	▲ 264,597

### ■ 正味財産増減計算書の要旨

(単位：千円)

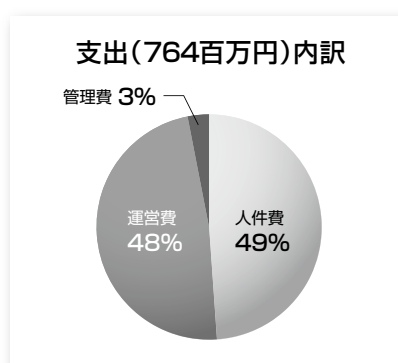
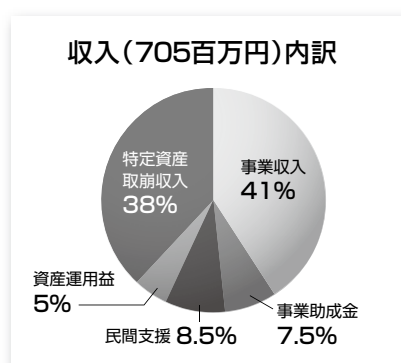
科 目	2009 年度 決算	2010 年度 決算見込	2011 年度 予算	2010 年 2011 年 増減	科 目	2009 年度 決算	2010 年度 決算見込	2011 年度 予算	2010 年 2011 年 増減
基本財産運用益	34,496	34,450	0	▲ 34,450	文化事業収益	14,183	-	-	-
特定資産運用益	2,350	2,550	36,250	33,700	雑収益	2,380	2,001	501	▲ 1,500
受取会費・寄附金等	129,413	119,500	60,000	▲ 59,500	経常収益合計	542,135	488,791	440,811	▲ 47,980
民間支援	19,413	9,500	60,000	50,500	事業費	555,071	561,560	712,433	150,873
公的支援	110,000	110,000	0	▲ 110,000	管理費	137,977	142,400	51,944	▲ 90,456
事業助成金	72,235	53,950	53,800	▲ 150	経常費用合計	693,048	703,960	764,377	60,417
文化庁助成金	60,000	43,300	43,100	▲ 200	当期経常増減額	▲ 150,913	▲ 215,169	▲ 323,566	▲ 108,397
その他団体助成金	12,235	10,650	10,700	50	経常外増減額	▲ 102	0	0	0
事業収益	287,078	276,340	290,260	13,920	当期一般正味財産増減額	▲ 151,015	▲ 215,169	▲ 323,566	▲ 108,397
チケット収入	59,100	55,500	75,130	19,630					
依頼公演収入	209,796	204,510	197,000	▲ 7,510					
コンサート協賛金	3,000	3,000	9,000	6,000					
ファンクラブ他収益	15,182	13,330	9,130	▲ 4,200					

## ■ 2010 年度 収入・支出構成内訳



2010 年度は、寄付金の獲得や事業収入の拡大、国・民間・団体からの助成の確保に取り組みましたが、財源不足分は特定資産の取崩により充当することとしました。

## ■ 2011 年度 収入・支出構成内訳 (予算)



大阪府の助成がなくなり大幅な収入の削減となりますが、今後につきましては、自立化へ向けて演奏会の充実、会員の拡大、寄付金収入の増加を図ることが重要な課題となっています。

## ■ 公演入場者数実績

	2008 年度		2009 年度		2010 年度	
	公演数	入場者数	公演数	入場者数	公演数	入場者数
定期演奏会	10	14,393	10	13,244	10	12,335
その他の主催公演	9	10,898	7	7,755	8	7,669
総 計	19	25,291	17	20,999	18	20,004

定期演奏会の入場者数につきましては、個人定期会員・団体定期会員数の落ち込みがあり、その他の主催公演につきましても、昨年度より下回る結果となりました。

今後は演奏技術に磨きをかけ、創造的な演奏活動を展開し、定期会員の獲得に努めるとともに演奏活動の場を全国に拡げ、新たなファン開拓に取り組んでまいります。

## ■ その他の主催事業

- 2008 年度 センチュリー・スクリーンミュージック・セレクション / ワンコイン・コンサート (3 会場) / センチュリー名曲コンサート / 星空ファミリーコンサート (2 公演) / 京都特別演奏会 / オーケストラの日コンサート
- 2009 年度 20 周年特別演奏会 (2 公演) / 星空ファミリーコンサート (2 公演) / 京都特別演奏会 / 東京特別演奏会 / 日演連推薦 新人コンサート
- 2010 年度 オーケストラできく「美しい日本のうた」 / 上海公演 / びわ湖定期公演 / 星空ファミリーコンサート (2 公演) / 京都特別演奏会 / 日演連推薦 新人コンサート / オーケストラの日コンサート

## 2011 年度事業内容

NHK 大阪ホールにて開催する“センチュリー四季コンサート”、三重・福井・神戸の特別演奏会が今年度より新たにスタートいたします。どの公演も名曲揃いでご満足いただける内容となっております。また、“タッチ・ジ・オーケストラ”や病院・特別支援学校でのコンサートなど、地域に貢献する活動もこれまでと変わらず行っておりまいます。

### ■ 自主事業

#### 大阪力・発信

定期演奏会を中心に、京都特別演奏会、びわ湖定期公演、依頼公演において、芸術性の高い演奏を提供して、「大阪力」の発信を行います。さらに、平成 23 年度は新たに、三重特別演奏会、福井特別演奏会、神戸特別演奏会をホールとの共催により開催いたします。

#### ▶ 定期演奏会

##### ● ザ・シンフォニーホール 10 公演(第 160 回～ 169 回)

小泉和裕音楽監督 (4 公演)  
沼尻竜典首席客演指揮者 (2 公演)  
外国人指揮者 (4 公演)

#### ▶ 特別演奏会

##### ① びわ湖定期公演 (2 公演)

2010 年度より開始した定期公演を引き続き財団法人びわ湖ホールと共催で開催する。

2011 年 7 月 24 日 (日) 15 時開演  
滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール  
指揮…大山 平一郎

ヴァイオリン…パク・ヘユン  
チャイコフスキー：セレナード ハ長調 作品 48  
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品 64  
モーツァルト：交響曲 第 41 番 ハ長調 K.551  
「ジュピター」

2012 年 3 月 18 日 (日) 15 時開演  
滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 大ホール  
指揮…小泉 和裕  
ピアノ…小菅 優  
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第 5 番 変ホ長調  
作品 73 「皇帝」  
ベートーヴェン：交響曲 第 3 番 変ホ長調  
作品 55 「英雄」

##### ② 京都特別演奏会

2012 年 1 月 15 日 (日) 15 時開演  
京都コンサートホール 大ホール  
指揮…小泉 和裕  
ヴァイオリン…四方 恭子  
チェロ…横坂 源  
ブラームス：ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲  
イ短調 作品 102  
ブラームス：交響曲 第 1 番 ハ短調 作品 68

##### ③ 三重特別演奏会

2011 年 6 月 26 日 (日) 15 時開演  
三重県総合文化センター  
三重県文化会館 大ホール  
指揮…小泉 和裕  
ピアノ…小山 実稚恵  
グリンカ：歌劇「ルスランとリユドミラ」序曲  
ラフマニノフ：ピアノ協奏曲 第 2 番 ハ短調 作品 18  
ドヴォルザーク：交響曲 第 9 番 ホ短調 作品 95  
「新世界より」

##### ④ 福井特別演奏会

2011 年 7 月 18 日 (月・祝) 15 時開演  
福井県立音楽堂 ハーモニーホールふくい 大ホール  
指揮…小泉 和裕  
ピアノ…小山 実稚恵  
チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第 1 番 変ロ短調  
作品 23  
チャイコフスキー：交響曲 第 5 番 ホ短調 作品 64

##### ⑤ 神戸特別演奏会

2011 年 11 月 23 日 (水・祝) 16 時開演  
神戸新聞 松方ホール  
指揮…山下 一史  
ピアノ…岡田 将  
■ リスト生誕 200 年記念  
リスト：交響詩「レ・プレリュード」  
：ピアノ協奏曲 第 1 番 変ホ長調  
：ピアノ協奏曲 第 2 番 イ長調  
：ハンガリー狂詩曲 第 2 番

### 感動・癒し

オーケストラの社会貢献活動として、高齢者やふだん演奏会に馴染みのない方に音楽の力による本物の感動体験をご提供いたします。

#### ▶ 四季コンサート

##### ● センチュリー四季コンサート 2011 ー春

2011 年 5 月 22 日 (日) 15 時開演  
NHK 大阪ホール  
指揮…小泉 和裕  
ピアノ…田村 響  
グリンカ：歌劇「ルスランとリユドミラ」序曲  
チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 第 1 番 変ロ短調  
作品 23  
ドヴォルザーク：交響曲 第 9 番 ホ短調  
作品 95 「新世界より」



- **センチュリー四季コンサート 2011 ー夏**  
2011年8月21日(日) 15時開演  
NHK 大阪ホール  
指揮…小泉 和裕  
ヴァイオリン…滝 千春  
ベートーヴェン:「エグモント」序曲 作品 84  
モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調  
K.219「トルコ風」  
ビゼー:組曲「アルルの女」第2番  
ラヴェル:ボレロ

- **センチュリー四季コンサート 2011 ー秋**  
2011年11月13日(日) 15時開演  
NHK 大阪ホール  
指揮…小泉 和裕  
ピアノ…福岡 洸太郎  
ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲  
グリーグ:ピアノ協奏曲 イ短調 作品 16  
ムソルグスキー (ラヴェル編曲):組曲「展覧会の絵」

- **センチュリー四季コンサート 2011 ー冬**  
2012年2月26日(日) 15時開演  
NHK 大阪ホール  
指揮…小泉 和裕  
ヴァイオリン…南 紫音  
ワーグナー:楽劇  
「ニュルンベルクのマイスタージンガー」  
(第1幕への)前奏曲  
メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品 64  
ベートーヴェン:交響曲 第5番 ハ短調 作品 67「運命」

## ■社会貢献活動

### ▶ 特別支援学校コンサート

生の音楽に触れる機会の少ない特別支援学校の児童・生徒を招き、オーケストラによるコンサートを実施する。また、障害者が来場するのに適した会場がない北部地域支援学校に出向いてアンサンブル演奏を行う。

- **オーケストラコンサート**  
日時 未定 (1公演予定)  
国際障害者交流センター (ビッグ・アイ)

- **アンサンブル演奏**  
日時 未定 (2日間予定)  
各府立支援学校

### ▶ 病院コンサート

病院に入院、通院されている患者やその家族に、音楽演奏による心の安らぎを提供するため、病院のロビー等で、アンサンブル演奏会を実施する。

※今年度は府立病院5カ所で開催予定

### ▶ 星空ファミリーコンサート (「西田房子記念事業基金」活用)

夏休み最後の土、日の二夜、服部緑地野外音楽堂で、音楽クイズや指揮者コーナーなど、家族で楽しめるコンサートを開催する。

2011年8月27日(土)、28日(日)

両日とも 19時30分開演

指揮…小田野 宏之

曲目…検討中

## 交流・平和

「世界共通言語」である音楽を通じ、音楽大使として国際相互理解や平和の構築に貢献する。

## 発掘・育成

児童、生徒、青少年に生の音楽演奏の鑑賞や体験。参加の機会を提供することを通じて、音楽の力による健全な育成に寄与します。

### ▶ タッチ・ジ・オーケストラ (教育プログラム)

小学生を対象に、演奏を鑑賞するだけでなく、楽器に直接触れる、歌での共演などオーケストラを身近に体感するコンサートを実施する。

(16公演予定)

センチュリー・オーケストラハウス

### ▶ センチュリー・ユースオーケストラ

財団法人関西テレビ青少年育成事業団と連携し、中学一年生から29歳までの青少年を募り、ユースオーケストラを組織して指導・育成を行う。

指揮者小田野宏之氏と楽員の指導により、第4回定期演奏会および「星空ファミリーコンサート」での日本センチュリー交響楽団との合同演奏の他、野外活動を実施する。

#### 【公演予定】

- **第4回定期演奏会**  
2012年3月(予定)  
いずみホール(予定)  
指揮…小田野 宏之



# 会員名 (2011.5.30 現在)

## 法人賛助会員

株式会社 アプライド・テクノロジー イズミヤ株式会社 岩谷瓦斯 株式会社 岩谷産業 株式会社 尾家産業 株式会社 弁護士法人 大江橋法律事務所 大阪いずみ市民生活協同組合 大阪よどがわ市民生活協同組合 株式会社 ODK ソリューションズ 弁護士法人 川原総合法律事務所 株式会社 関西アーバン銀行 学校法人 関西医科大学 牛乳石鹼共進社 株式会社 京阪電気鉄道株式会社 甲南電機株式会社 コーナン建設株式会社 株式会社 公洋	株式会社 コミュニケーション・テクノロジー 産経新聞社 白山殖産 株式会社 スギヤマ工房有限会社 株式会社 清文社 株式会社 ゼロ・プランニング 全労済 大阪府本部 大日本除虫菊株式会社 タクマグループ 株式会社タケサン 株式会社 竹中工務店 株式会社 DMN コミュニケーションズ 株式会社 テクノープル 東西法律事務所 トヤマ楽器製造 株式会社 株式会社 ドルチェ楽器 日本エレクトロセンサリデバイス株式会社	日本クルーズ客船 株式会社 株式会社 note ノワ・アコルデ音楽アートサロン 阪急電鉄 株式会社 ビューテック株式会社 西日本事業所 ビュッフェ・クランポン 株式会社 株式会社 フォンテック 富士電子工業 株式会社 株式会社 マルコ楽志堂 医療法人 森 矢野クリニック 株式会社 ユニオン ローム株式会社 若林正伸法律事務所          他 匿名 3 社
計 51 社		

## 個人賛助会員

井形 健児 石沢 直樹 石澤 命久 伊藤 克彦 井上 正弘 岩佐 益男 植木 心一	上原 恵美 植本 眞砂子 宇野 聡 梶山 敦子 川瀬 禎之 岸本 忠三 北村 智恵	久保井 一匡 桑内 英子 河野 眞弓 佐々 潤子 佐藤 治子 下谷 毅夫 添田 美代子	高垣 紳 高橋 肇 高橋 葉子 竹川 清 辰野 みよ子 知野 隆二 津村 寛二	友添 郁夫 中谷 真憲 中本 和洋 長谷川 明美 八田 陽児 ひらい 悦子 藤本 守孝	榎家 小鈴 C.M 三原 啓史 矢野 隆子 山内 茂貞 湯尾 弘司 吉栖 照美	敬称略 他 匿名 29 名 計 71 名
---	---	---	---	---	---	----------------------------

## 団体定期会員

アビコ印刷株式会社 社会医療法人 医真会 いずみホール 上野製薬株式会社 司法書士法人 鶴川事務所 弁護士法人 栄光 大阪ガス株式会社 大阪府生活協同組合連合会 大阪府都市開発株式会社	オフィス 樹研 弁護士法人 オルビス 株式会社 学校事務機センター 株式会社 関西ケイエヌ商会 関西国際空港産業株式会社 関西電力株式会社 北大阪急行電鉄株式会社 共栄法律事務所 有限会社 神戸楽譜	自治労大阪府職員関係労働組合 自治労大阪府職総務支部 自治労大阪府本部 日本金銭機械株式会社 学校法人 履正社       他 匿名 1 団体
計 24 団体		

## 会員名 (2011.5.30 現在)

### ▶ 個人定期会員

相原 輝夫	右近 洋一	川谷 道郎	酒井 豊	巽 弘志	中谷 玲子	藤城 薫
青山 勝	宇野 聡	河内 美恵子	酒井 佐知子	立岩 真理子	中野 喬子	藤城 佳子
赤穂 久枝	宇野 真佐雄	神崎 祐紀雄	佐々木 勸	田中 鎮夫	中野 まさし	藤田 保幸
浅尾 直子	梅原 知行	神崎 あつ子	佐々木 伸行	田中 實	中野 眞理子	藤本 好司
阿部 勝利	榮本 和幸	岸田 克美	塩川 都造	田中 由美	宮田 順子	藤原 瑛子
安保 健	枝松 美恵子	岸本 雄次郎	塩谷 俊雄	谷 和哉	仲野 元	古田 重信
安保 恵以子	遠藤 啓輔	北田 聖明	鹿田 良美	田主 信生	中平 正子	北條 文子
荒井 和昭	大図 恵子	北田 すま子	四宮 君子	田原 英明	仲町 秀雄	細谷 正純
荒金 憲一	大須賀 健	北出谷 由利子	芝本 美智子	田原 福代	中村 光代	細見 幸弘
荒木 和子	太田 高顕	北野 義幸	柴山 文男	田原 基	中本 みつ子	堀田 文一
有計 治彦	太田 景子	北之坊 皓司	柴山 敏子	田伏 美和	那須 市子	堀 直樹
羽衣亭憲坊	大塚 頌子	北浜 靖朗	島田 正俊	筑瀬 康昭	青山 由子	堀 則明
池田 守	大塚 伸二	木本 英子	島田 里美	筑瀬 由紀子	鍋谷 裕志	堀井 康永
池田 昌代	大槻 和夫	清本 敏弘	島津 一仁	塚谷 厚子	並河 俊夫	堀内 勲
池谷 成典	大槻 綏子	金 昌信	島津 皓一	佃 孝三	成瀬 浩健	堀内 美智子
伊澤 和子	大槻 捷夫	金田 達郎	志水 薫	辻本 周右	西岡 恒夫	本田 洋一
石井 信行	大槻 陽子	具足 隆夫	清水 康代	辻本 紀枝	西岡 洋子	前川 恵子
石川 倉司	大橋 賢三	久保 修二	首藤 一	津田 優	西田 俊通	前田 昇
石田 和夫	大橋 省一	久保 義道	小路 万里	土田 靖子	西辻 實	前田 従子
石田 早苗	大橋 正也	久米 実	庄谷 秋義	土谷 明	西野 しげる	牧野 実
石塚 正男	大山 秀子	黒田 敏男	妹尾 直子	土橋 武	西野 満子	増池 徹彌
井田 文男	岡 真之介	黒田 昌子	白崎 信己	土橋 紀久子	西野 智子	増田 雅弘
市川 佐代子	岡本 一郎	河野 泰三	末久 統紹	綱澤 恵美子	西野 敬智	増田 勝
市原 智恵子	岡本 佳三	河本 重成	杉山 忠夫	津村 明子	新田 嘉輝	益邑 隆
出野 徹之	奥田 康司	小柴 治身	角野 幹治	津村 寛二	長谷 靖	町田 幸一
伊藤 妙子	奥田 礼子	児嶋 弘恵	瀬川 重和	寺内 顕	蜂谷 達雄	松井 征子
伊藤 誠	奥野 雅生	小杉 キヨ子	瀬戸山 正行	照屋 恵美子	濱崎 定也	松岡 昌孝
稲葉 由己子	奥村 健史	小谷 公穂	芹生 幸一	照山 まり子	濱田 伊津子	松崎 猛
井上 明子	織田 眸	小谷 洋子	高垣 紳	土肥 啓藏	早嶋 茂	松下 洌子
井上 和子	織田 富二子	後藤 眞一	高士 雅次	土居 武雄	速水 洋紀	松村 誠一
井上 正	小田川 泰幸	坂田 京子	高士 文緒	土井 秀一	原 喜代志	松村 太郎
井上 英昭	小野田 文彦	後藤 種子	高士 夏菜子	土井 久実	原 良成	松室 猛
井上 寛	小畑 弘	後藤 昭寛	高島 義衛	篤田 雅広	原田 和哉	松室 洋子
井上 文顕	小畑 祐介	後藤 完栄	高萩 浩史	篤田 由美	原田 繁春	松本 薫
井上 良子	海口 万里子	後藤 光弘	高橋 肇	富江 雅史	伴 亨	松本 道嘉
井上 裕介	海口 和美	後藤 和子	高橋 葉子	富江 洋子	比嘉 廉丈	丸山内 剛
今井 捷子	梶本 徳彦	後藤田 育司	高橋 正雄	豊田 剛	東谷 直司	万代 保
今川 貞夫	片山 登志子	琴寄 千栄子	高平 嘉二	鳥越 雅博	樋口 昌宏	水野 武夫
岩尾 武司	加藤 武司	小走 佳代子	田川 とどむ	長井 俊彦	日比 きし	水野 麻子
岩佐 益男	加藤 真佐子	小浜 和子	滝川 美代子	永井 誠子	日比 三郎	溝田 圭子
岩崎 邦雄	加藤 信夫	小間 紀子	竹内 俊隆	中江 憲子	姫野 繁雄	三宅 幸代
岩崎 しのぶ	金井 憲一	小松 隆秀	竹内 洋次	中芝 正美	ひらい 悦子	宮崎 博司
上田 肇	金田 明子	小松 通子	竹山 栄治	中島 章	深井 啓子	宮下 哲
植田 雅彦	鎌倉 佐己子	子安 一男	多湖 洌	中島 敏行	深草 克士	宮田 功
上田 譲	神谷 幸子	小柳 忠之	田島 義康	中島 善一	福山 忠至	宮田 國子
上村 美佐子	川上 久子	小山 俊朗	辰川 謙市	中島 義孝	藤井 正興	宮原 正武
宇口 文雄	川口 ひとみ	金光 文和	辰野 未代子	中田 茂	藤井 三樹生	宮原 佐和子
右近 和子	川島 静子	斉藤 文昭	好川 純子	永田 英夫	藤井 道子	棟安 信博

---

村井 純一  
村瀬 人美  
森 隆文  
森 英雄  
森田 健一  
森田 音々  
森名 良広  
森本 勉

諸岡 充  
八束 英子  
矢野 雅一  
矢野 雅子  
藪野 恒明  
山浦 莊平  
山浦 菊子  
山上 勉

山上 登三子  
山岸 光一  
山口 治  
山口 美智子  
山口 雄大  
山下 喜美  
山下 紘一  
山田 隆明

山田 裕彦  
山登 敏男  
山中 理恵子  
山村 睦  
湯尾 弘司  
吉上 裕子  
吉川 龍作  
吉田 昭雄

吉田 玲子  
吉田 忠司  
吉田 俊樹  
吉原 孝  
吉原 恵  
吉村 静江  
吉元 弘  
吉元 紀美代

羅 辰雄  
若林 拓史  
若林 万里子  
和田 昭二  
和田 友貴  
和田 有仔  
和田 洋一  
渡部 郁男

渡辺 賢  
渡辺 正実  
  
敬称略  
他 匿名 184 名  
計 570 名



## 指揮者・メンバー

◆…アシスタント・コンサートミストレス ●…特別首席奏者 ◎…首席奏者 ○…副首席奏者

音楽監督		小泉 和裕
首席客演指揮者		沼尻 竜典
名誉指揮者		ウリエル・セガル
コンサートマスター		後藤 龍伸
第1 ヴァイオリン	◆	蔵川 瑠美 相蘇 哲 小笠原 雅子 小川 和代 佐藤 文隆 関 晴水 中谷 真美 日比 淳一
第2 ヴァイオリン	◎	池原 衣美 尾崎 未佳 下谷 智子 田辺 彰 廣津 智香 本吉 優子 山下 千夏
ヴィオラ	● ○	竹内 晴夫 増永 雄記 清水 豊美 永松 祐子 森 亜紀子
チェロ	● ◎ ○	林 俊昭 北口 大輔 高橋 宏明 佐野 穰一 末永 真理 望月 稔子

コントラバス	● ○	相葉 武久 内藤 謙一 小林 千湖 坂倉 健
フルート	◎	ニコリヌ・ピエルー 永江 真由子 伏田 依子
オーボエ	◎	宮本 克江 城石 賢明
クラリネット	◎	持丸 秀一郎 大中 一已
ファゴット	◎	宮本 謙二 佐藤 ジュン
ホルン	◎ ○	木川 博史 向井 和久 森 陽子
トランペット	◎	佐藤 元昭 稲垣 路子 岡野 圭児
トロンボーン	◎	近藤 孝司 三窪 毅
ティンパニ	◎	安永 友昭
打楽器		廣川 祐史
インスペクター		持丸 秀一郎
名誉楽員		奥田 一夫

## 公益財団法人 日本センチュリー交響楽団

理事長	水野 武夫
顧問	出馬 迪男
常務理事	野崎 明宏
理事	上山 直英 岸本 忠三 國谷 史朗 佐藤 茂雄 立野 純三 松本 浩樹
監事	大谷 吉夫

評議員	上原 恵美 岡田 吉生 栢本 義臣 日下部 吉彦 佐伯 照道 中村 孝義 吉川 智明 吉栖 照美
-----	---

事務局長	野崎 明宏
企画制作部	嶋崎 徹 高尾 浩一 大給 鮎美 山口 明洋 林 萌子
事業開発部	望月 正樹 吉井 恵美 木下 菜生子 井口 剛 西田 久美子 圓尾 佳代
総務経理部	藤本 隆夫 上元 さつき 阿部 美恵 柿塚 拓真 香川 博行

## 音楽評

### 沼尻竜典指揮 びわ湖ホール 「トリスタンとイゾルデ」

### 至難の作品 音も心もつかみきる

沼尻竜典指揮の大阪センチュリー交響楽団により、びわ湖ホールがワーグナーの楽劇「トリスタンとイゾルデ」を上演した（10日）。演奏至難で名高い作品だが、この公演の稀に見る集中力の高さは、まさに記念碑的と呼んでも過言でない出来栄であった。

小山由美の気品あふれるイゾルデをはじめ、歌手のレベルは極めて高い。とりわけ松位浩のマルケ王と石野賢生のクルヴェナールは圧倒的な存在感。加納悦子のブランゲンネもいい。ミヒャエル・ハイニケの演出は、「トリスタンとイゾルデ」が作曲されたベネチアの富豪の館をモデルにした具象的な室内空間と、照明変化のみによって登場人物の心理を描き出す抽象的な舞台をうまく交錯させる。

だが公演の最大の功績者は、何と言っても指揮の沼尻である。決して自分自身がスッ

トライトを浴びるような振り方ではない。だがドラマに引きずり込まれてふと気づくと、いつもその要に彼がいる。あの「トリスタン」のスコアを、ここまで完全に掌握しきっ

ていることは、それだけでも驚きだ。弦の複雑な半音階も、繊細極まりない管楽器の色彩変化も、ほとんど室内楽のように明確に描き分けられ、流麗に流れる。そして「ここぞ」という瞬間には、ピンポイントで全オーケストラの怒濤のような突きが来る。

しかし何より素晴らしいのは、沼尻の音楽においては、あらゆる音がドラマの一部として「生きている」点にある。単なる器楽的な正確さではなく、すべてが登場人物の深層心理や予感や不思議な物音や気配の表現になっているのだ。だからこそ、だろう。休憩を入れて5時間に及ぶ「トリスタン」がこれほど短く感じられたのは初めてだった。

（岡田暁生・音楽学者）

▶16日午後2時から公演。問い合わせは同ホール（077・523・7136）へ。

### オーケストラ 大阪センチュリー交響楽団 （第155回）

このところ絶好調の沼尻竜典&センチュリー響コンビだが、最初の曲武満徹《弦楽のためのレクイエム》で、まずヒット。弦の質の高さが自慢のこのオケにふさわしい曲で、拍節感の自由さのまま、変拍子が、いとも自然に流れる。シヨパン「ピアノ協奏曲第2番」の独奏は、ポーランドの女性ピアノリスト、エヴァ・ク

### オーケストラ 大阪センチュリー交響楽団 （第155回）

このオーケストラの底力を聴かせたコンサート。取り上げられた曲はモーツァルトのK334のディヴェルティメントとルトスワフスキ「管弦楽のための協奏曲」。指揮は音楽監督の小泉和裕。1曲目のモーツァルトでは最初、指揮者の指示がヴァイオリンに向かうことが多かったこともあって、ともすればそのパート

が全体のアンサンブルの中で分離し浮かび上がり気味だったが、曲が進むにつれ次第に他とかがみ合い始め、伸び伸びとした音楽に。スタイルのみにこだわったモーツァルトにならず、いい意味で中庸さに血の通わせた調べとなった。

この曲で点滅したのだろうか。後半のルトスワフスキはさらにはつらつとした音楽を展開。曲名にふさわしく各パートは与えられた箇所を流れに沿ってくつきりと浮かび上が

らせるとともに、それらの受け渡し、出と引つ込みもいかにも牽引げに自発性豊かに演奏した。奇しくも聴こえてきたのはモーツァルトとの呼応。評者は本楽団を取り上げた前回、その実力に不安を呈したがそれを見事に吹き飛ばしてくれた。関西の音楽界の水準をさらに高めるためにもこのオーケストラの存在の大きさを改めて感じた。10月21日・ザ・シンフォニーホール

●網干毅

ピーク。この人も、音楽の自然な流れが特徴で、余計なリキミがない。その中で、微妙なゆれやアゴギクを作る。ピアノ・シモが美しく、上質のシヨパン。聴きものは、シューマン「交響曲第2番」。シヨパンと同じく生誕200年の記念年を組み合わせたプログラム。ここでも沼尻は、弦を中心としたアンサンブルの鮮かさを披露した。第2楽章スケルツォの超スピードから、一転して第3楽章アダージオの遅さ、悲しさで

終楽章では、再びアレグロ・モルトで、精度の高い、一糸乱れぬアンサンブルを展開した。時折り、ゲスト・コンサートマスター小森合巧や、ヴィオラの首席竹内晴夫らの、一瞬のソロが入り、思わず息を飲む。このあたりも、センチュリー響の魅力のひとつ。これだけのオーケストラが、いま存亡の危機に瀕しているなんて、考えられない。11月18日・ザ・シンフォニーホール

●日下部吉彦



〒561-0873 大阪府豊中市服部緑地 1-7  
Tel. 06-6868-3030 Fax. 06-6866-9020  
1-7 Hattori-Ryokuchi Toyonaka Osaka 561-0873

<http://www.century-orchestra.jp/>

2011 年 6 月発行